

1月 いじめを見逃さない日 保護者の方の感想（概要版）

- 親の想いを子の前で話す、子が知ることができるというのは良いと思います。家庭では見られない姿を見られてよかったです。
- 家庭や学校で話し合うことを通して、一人一人が大切な存在であることを意識できる社会になればいいなと思います。
- 今回、参加させていただき、生徒の皆さんがそれぞれいじめをなくすということについて積極的にお話をしていることに感銘を受けました。一人一人がいじめについて考えるということ自体がいじめをなくすことにつながると思いますので、ぜひ、対話を続けていってほしいです。
- 「人の違いを受け入れること」このことを常に考えられるよう、話し合う機会も今後も続けてください。厳しい言葉ですが、いじめは犯罪です。遊びではないということも理解してほしいです。
- 心を痛めた日から数年経ち、いじめに対する意識が薄れているのではないかという心配がありましたが、生徒の皆さんや、このような機会をつくってくださる学校の先生方のご様子から、そのようなことはないのだと安心しました。
- 先生方も保護者の方も子どもから信頼され、小さいことでも相談してもらえる相手になれたらと思います。
- 今回の参加にあたり、改めていじめについて考えました。何を話せばよいのか不安でしたが、授業に参加させていただいて中学校の皆がいじめに対してとても真剣に考え、話し合っている姿を尊敬しました。日頃から、沢山の話し合いがなされるのだなと思います。
- 本日参加する中で子どもたちが自分たちの言葉でいじめを語る姿に感銘を受けました。昔であればタブーであるような話題、答えのない議論でも、ちゃんと向き合う姿が素晴らしいと思います。
- 3年間このいじめについて、とことん話し合い、考えてきた様子がよく分かりました。私たち大人は今までもこのように考えることはほぼなく、子どもたちが皆楽しく元気に過ごしていくには、と考えるばかりです。